



佐藤 貴雄
(民声クラブ)

有害鳥獣・危険昆虫等の対応・ 墓苑整備事業について

有害鳥獣・危険昆虫の対応について

- 問** 野生鳥獣被害は農作物被害や営農意欲減退、耕作放棄地の増加等にも影響する。捕獲隊の人材確保を考えるべきではないか。
- 答** 地域に追い払い隊の協力や支援制度を充実させます。
- 問** 国の交付金を利用した処理施設の新設や対策協議会の設置は。
- 答** 処理施設は課題が多いと考えます。対策協議会は準備中です。
- 問** 今の季節は特に危険なスズメバチ駆除の方法は。
- 答** 駆除業者に依頼し、営巣一個につき市民負担は四千円です。
- 問** ハチ駆除用防護服の貸出制度を行っている自治体もあるが。
- 答** スズメバチ以外の駆除は自己負担なので、制度を検討します。

墓苑整備事業について

- 問** 市営墓地整備の要望があるが、昨年「市営公園墓地建設」の要望書が、千人あまりの署名と

ともに提出されました。

- 問** 要望に関して対応しているか。
- 答** 適地の選定に努めています。
- 問** 未利用市有地の活用はどうか。
- 答** 候補の一つとして検討します。
- 問** 今年度の取り組みは。
- 答** 市民ニーズを把握するため住民意識調査を行います。
- 問** その調査は建設の是非か、建設を前提にしたものか。
- 答** 建設を前提にしたものです。
- 問** 納骨堂整備の考えはあるか。
- 答** 調査結果を得て検討します。



スズメバチの巣



柳 沢 浩之
(清風クラブ)

福祉行政・血液人工透析患者・ 市立図書館について

障がい者支援について

- 問** 七月に発生した障害者施設殺傷事件の受け止めは。
- 答** この事件に憤りを感じます。
- 問** 社会的少数者への差別的犯罪に對しての答えは。
- 答** 人格と個性を尊重して共生する社会を目指しており、差別的犯罪は、あつてはならないと考えます。
- 問** 障害者差別解消法が施行されたが、本市の現状は。
- 答** 「障害を理由とする差別解消の推進に関する対応要綱」を策定し、周知に取り組んでいます。
- 問** 防犯体制の強化に向けて、施設の施錠の強化や監視カメラの新設、警察との連携が必要では。
- 答** 施錠の徹底や監視カメラの設置、警察との連携は、有効な防犯対策であり、国では、防犯カメラ設置費用などの補助を計上しています。

- 問** 福祉施設で働く職員の防犯に

関する教育や訓練の現状は。

- 答** 不審者に対する警戒や防犯などのマニュアルづくりが実施されています。
- 問** 福祉施設を対象とした防犯研修が必要では。
- 答** 研修や訓練は、大変重要であり、福祉施設の設立の認可権限を有する県と協議し、実施に向け検討していきます。

その他、透析治療患者へのサービスの充実、市立図書館の活性化について質問しました。



福祉課窓口